

令和8年度 江戸川区立船堀幼稚園 学校関係者評価報告書

学校教育目標	心も体も健康な船堀の子どもを育てるために次の目標を設定する。 ・元気な子ども（健康な心と体を育てる）・明るい子ども（自発性や主体性を育てる）・考える子ども（思考力や創造力を育てる）・思いやりのある子ども（社会性や豊かな心を育てる）	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○足育・心育・遊育・食育・共育を目指す幼稚園 ○心も体も健康な子ども ○質の高い幼児教育を実践し、自ら学び続け、教員力を高める努力をする教師
前年度までの本校の現状	成果 ○幼児の興味・関心、時期、発達に応じた教材提示や環境構成により、遊びを通して思考力を育むことにつながった。 ○研究会を通して運動遊びをさらに工夫し、幼児自ら進んで取り組む実践ができた。	課題	○学年間や全ての職員間で、幼児の遊びや生活の取り組み、教師の援助の成果などを共有し、幼児が安心して過ごせる環境作りを目指す。 ○個別に支援を要する幼児に対する援助方法の共有や、専門家チーム、療育機関、健サポ等とのさらなる連携を図る。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	○遊育の推進	幼児の発達、興味関心、時期に応じた体験の積み重ねや環境構成の工夫	幼児が意欲的に遊ぶ活動内容の工夫と指導力の向上を図る					
	○心育の充実	歌や楽器遊びなどの音楽敵表現を日々取り入れ、幼児の感性を育む	遊びや一斉活動の中でさまざまな曲や楽器、踊りなど幼児が自由に関わり楽しめる環境を充実する					
	○絵本に親しむ活動の推進	日々絵本や紙芝居に触れる毎学期のお話会の実施	絵本、紙芝居、パネルシアターなどの活動を毎日取り入れる					
体力の向上	○体を動かす遊びの充実	多様な動きを経験させる教材の工夫や多様な運動遊びの充実	運動遊具の活用、教材の開発や園内研究会や研修会の実施で講師の助言を受け、実践する					
	○食育の推進	給食や野菜の栽培、収穫や会食の実施	給食指導や自ら育てた野菜を使った会食を通して、食への知識や関心を高める					
実現に向けた教育の推進 共生社会の推進	○特別支援教育の推進	幼児の発達や特性に応じた保育・支援内容の充実	視覚教材や表示物の有効活用し、具体的な援助の方法の伝達。共有を図る					
	○専門機関との連携	個別の幼児、学級の実態に合わせた介助員の配置、連携 専門家チーム、療育機関との連携	特性のある幼児の生活の安定と成長を促す 介助員の指導力向上を図る					
不登校の対応の充実	○教育相談の充実、共育の推進	面談や降園時の声掛け等個別相談やSSW、健サポ等専門機関との連携	多様化する保護者の対応を担任他園内の教職員、専門機関と連携し支援できる体制を整える					
	○欠席の多い幼児への対応	登園状況、遅刻、家庭状況の把握と早期対応	個別に声掛けや朝の電話連絡等、家事都合による欠席児の減少を目指す。					
地域	○OHPやビデオ参観等による教育内容の発信	日々の教育活動をHP、保護者連絡会、ビデオ参観等で保護者や地域への発信	保護者に参加の周知を行い、幼稚園教育の意義の理解を図る。					

社会に開かれた 園の実現	○見学説明会の実施	地域の未就園児を対象にした見学会、オンラインによる説明会を実施	子育て教育施設、区公共施設等への掲示、区広報の利用を学事係と協力して実施し、周知を図る。				
	○未就園児保育の実施	0～3歳児の親子を対象に遊びの場の提供や子育て相談の実施	地域の未就園児への周知と、登録人数の増加を目指す。				
特色のある教育の展開	○足育指導の推進	靴の履き方、足指体操の指導、保護者への足育の啓発活動の実施	足育朝の会での足育体操、親子足育教室での指導など、幼児と共に保護者に対して継続した啓発を行う				
	○幼保小連携の充実	地域の小学校、保育園等と交流会の実施、就学機関との連携を図り、滑らかな接続を目指す	小学校との交流会、幼稚園教育研究会の実施から互いの教育内容を理解し、連携を深める。				